

平成26年2月21日

JR東日本秋田支社

## 風力発電に関する風況調査を実施します

JR東日本では、北東北を「再生可能エネルギー基地」と位置付け、その一環として風力発電の導入を検討しています。

今回、秋田市下浜地区の当社用地内において、風況観測ポールを設置し、地上高50mまでの風向・風速のデータを蓄積して風力発電導入の可能性について検討を行います。

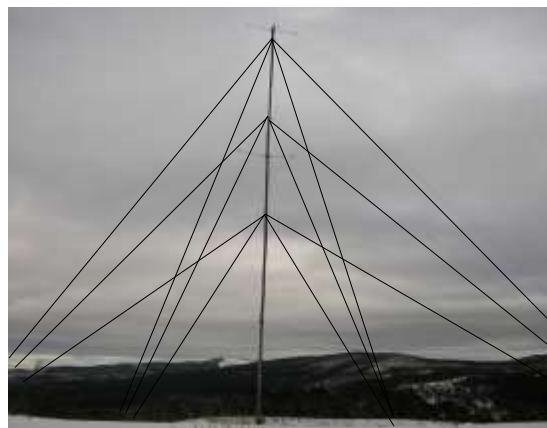
### 1. 風況観測ポール設置予定箇所

羽越本線道川～下浜間 当社用地内（国道7号線海側）



### 2. 設備概要

風況観測ポール 高さ約 50 m



(イメージ)

### 3. 調査期間

平成26年3月上旬から約1年間を予定しています。